

企業紹介

自分や家族・友人が必要なときに 利用したいと考える医療サービスの提供

医療法人崇徳会 **長岡西病院**

病院長 田村 正人
〒940-2081 長岡市三ツ郷屋町371番地1
TEL 0258-27-8500 FAX 0258-27-8509
<http://www.sutokukai.or.jp/nagaokanishi-hp/>

業 種：医療業
資 本 金：1億6,000万円
事業内容：外来・入院診療（240床）、健診事業、他

急性期から回復期、終末期に至るまで地域の人々の健康の回復・保持・増進に貢献する長岡西病院。医療と福祉をシームレスに取り結ぶための連携を積極的に推進し、トータルな地域医療・福祉連携システムの機能を発揮すべくユニークな取り組みを行っている。とりわけ、回復期リハビリテーション医療、緩和ケア医療、そして在宅医療・福祉施設との連携に特色を持つ。

平成4年長岡市内では4番目の総合病院として特色あるオープンを果たして20年

同院は、医療法人崇徳会が経営する総合病院。4つの視点を基本方針に据え、特色ある病院コンセプトにより、平成4年に開業した。

また、県内の病院業界ではいち早く、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価、ISO9001の認定・認証を受け、第三者評価に耐えうる病院づくりを目指してきた。こうした地道な取り組みは、今日の外来や入院患者数の増加に現れている。さらに、予防・健康増進分野では小回りの利く健診機関として好評で、受診事業所も拡大。地域の病院としての評価につながっている。



▲長岡西病院の正面

【長岡西病院 創業4つの基本方針】

- ① 疾病の治療・予防・健康増進にとりくみ地域の人々の健康づくりを実践する。
- ② 治療、介護、在宅ケアまで考慮した質の高いリハビリテーション医療を実践する。
- ③ 緩和ケア病棟「ビハーラ」を開設し「いのち」の尊さを大切に安らぎの医療と看取りを実践する。
- ④ 「長岡医療と福祉の里」の医療サポートを実践する。

回復期リハビリテーション病棟・緩和ケア病棟「ビハーラ」

そして、同院の最大の特色は、回復期リハビリテーション医療と緩和ケアにある。回復期リハビリ病棟では、脳卒中や大腿骨頸部骨折等のリハビリを中心に、専任医師、看護師等のみならず、理学療法士、作業療法士を専従職員として配置。言語聴覚士、管理栄養士、ソーシャルワーカー等、在宅復帰に向け多職種チームによる取り組みを展開している。その成果は、重症者回復率54.8%、在宅復帰率88.6%という高数値に反映。また、緩和ケア病棟「ビハーラ」では、痛みを緩和する専門医師が常駐。さらに、看護師、臨床宗教師等と共に、主として末期がん患者の心と身体のサポートを行っている。いずれも県内では先駆的に着手し、今日的に欠かせない分野になっている。



▲リハビリセンター。隣接して回復期リハビリ病棟がある

回復期リハビリ・緩和ケアを機軸に在宅医療・福祉との連携

現在、超急性期医療は市内3か所の総合病院が担い、亜急性期、回復期、終末期医療については、同院が専門的に行っている。そのため、市内3か所の総合病院はいずれも在院日数18日以内という医療保険上の制約があるが、同院は21日以内と幾分ゆるやかになっている。

また、「長岡医療と福祉の里」グループの一員として、地域に網の目のように事業展開されている「こぶし園」等をはじめとした在宅医療・福祉施設との連携も強み。今では、安心・安全・安楽な医療・福祉サービスの提供にあたり、同院は基幹病院的な役割を果たす医療機関として、地域社会を支える存在となっている。



▲地域医療連携室でのコーディネート・相談風景